

「環境学習」についてのアンケート結果

県では平成23年3月に滋賀県環境学習推進計画（第2次）を策定し、環境学習の推進を図っているところです。その進行管理を目的としてアンケートを実施しました。

★調査時期：平成27年7月

★対象者：県政モニター398人

★回答数：344人（回収率86.4%）

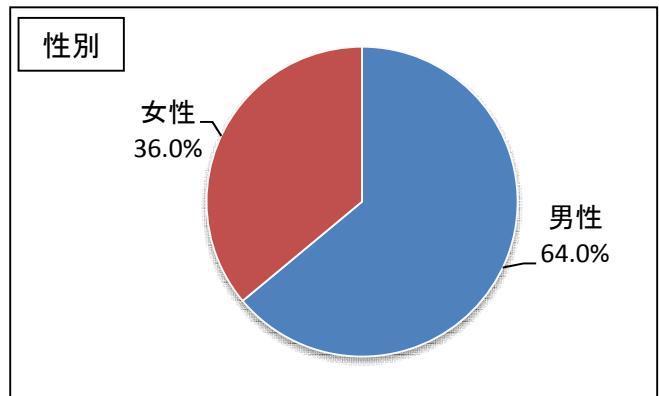
★担当課：環境政策課

（※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。）

【属性】

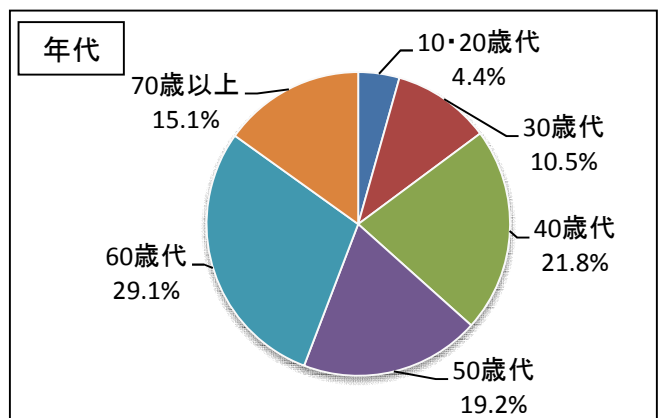
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	220	64.0
女性	124	36.0
合計	344	100.0



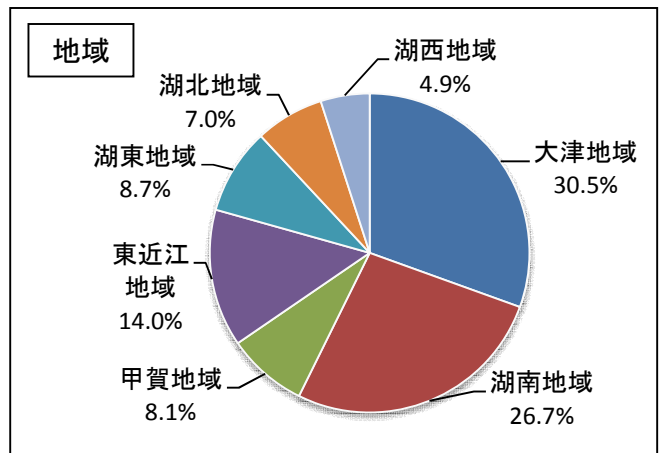
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	15	4.4
30歳代	36	10.5
40歳代	75	21.8
50歳代	66	19.2
60歳代	100	29.1
70歳以上	52	15.1
合計	344	100.0



◆地域

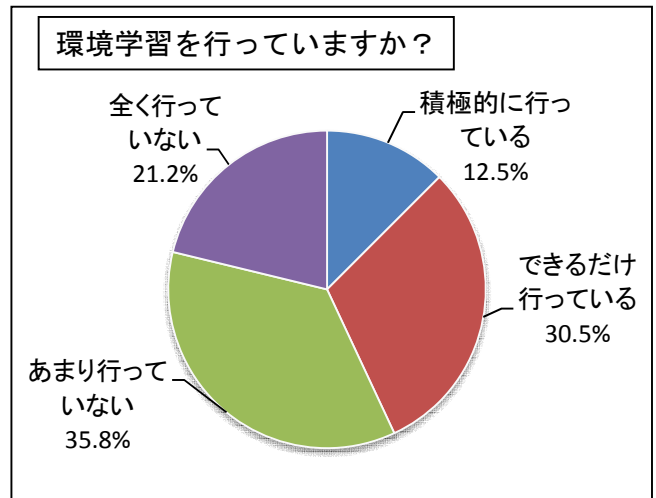
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	105	30.5
湖南地域	92	26.7
甲賀地域	28	8.1
東近江地域	48	14.0
湖東地域	30	8.7
湖北地域	24	7.0
湖西地域	17	4.9
合計	344	100.0



問1 あなたは、日頃、環境学習※1を行っていますか。(回答チェックは1つだけ。 n=344)

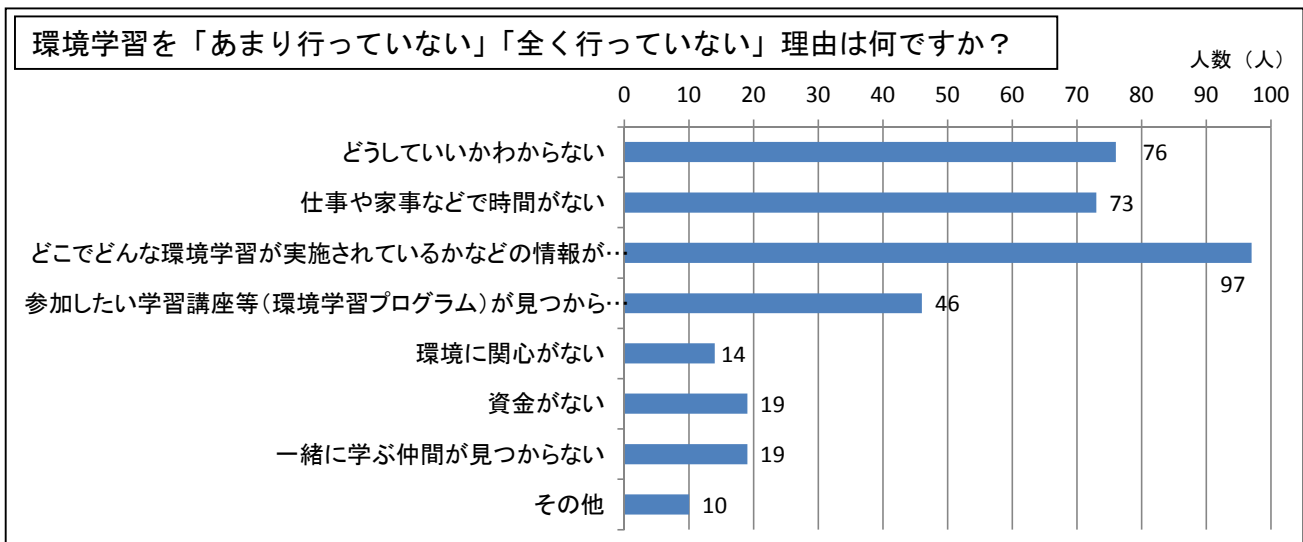
※1 環境学習…生物多様性の重要性や温暖化の仕組みなど環境について学び、自分の生活との関わりを考え、実践するなど、環境問題について理解を深め、また環境保全行動につなげていくための教育や学習のこと

項目	人数(人)	割合(%)
1. 積極的に行っている	43	12.5
2. できるだけ行っている	105	30.5
3. あまり行っていない	123	35.8
4. 全く行っていない	73	21.2
合計	344	100.0



問2 問1で「3. あまり行っていない」または「4. 全く行っていない」と回答された方におたずねします。その理由を次から選んでください。(回答チェックはいくつでも。 n=196)

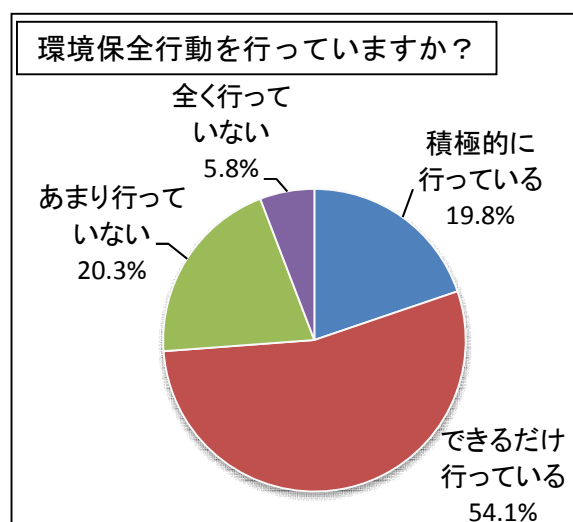
項目	人数(人)	割合(%)
1. どうしていいかわからない	76	38.8
2. 仕事や家事などで時間がない	73	37.2
3. どこでどんな環境学習が実施されているかなどの情報がない(少ない)	97	49.5
4. 参加したい学習講座等(環境学習プログラム)が見つからない	46	23.5
5. 環境に関心がない	14	7.1
6. 資金がない	19	9.7
7. 一緒に学ぶ仲間が見つからない	19	9.7
8. その他	10	5.1



問3 あなたは、日頃、環境保全行動※2を行っていますか。(回答チェックは1つだけ。n=344)

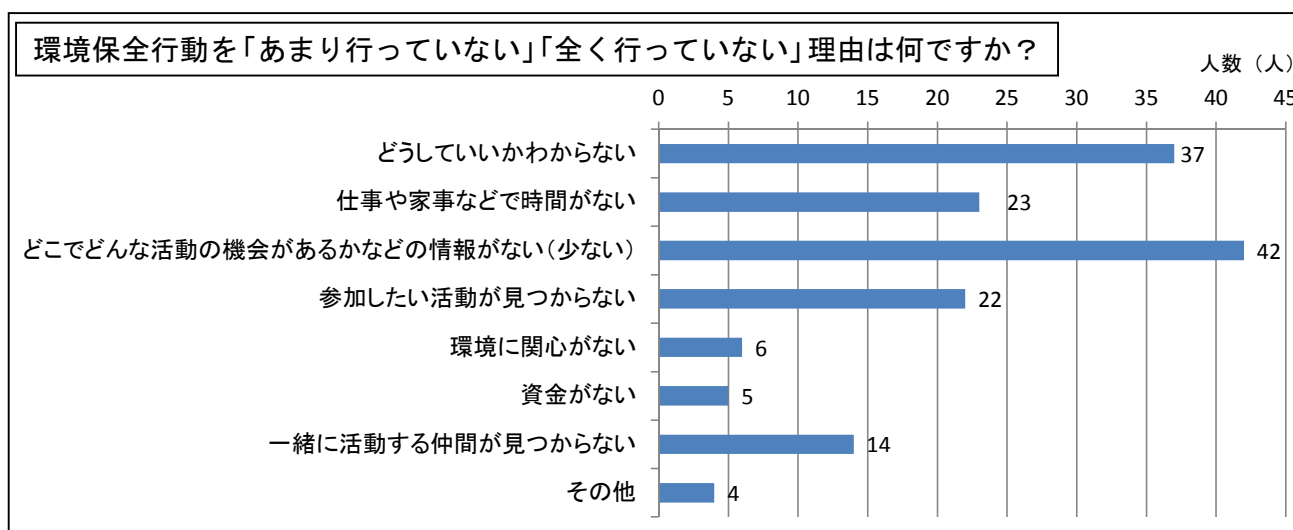
※2 環境保全行動…琵琶湖の清掃やヨシ刈り体験への参加、エコバッグの持参など、環境の保全のために
行われる行動のこと

項目	人数(人)	割合(%)
1. 積極的に行っている	68	19.8
2. できるだけ行っている	186	54.1
3. あまり行っていない	70	20.3
4. 全く行っていない	20	5.8
合計	344	100.0



問4 問3で「3. あまり行っていない」または「4. 全く行っていない」と回答された方におたずねします。その理由を次から選んでください。(回答チェックはいくつでも。 n=90)

項目	人数(人)	割合(%)
1. どうしていいかわからない	37	41.1
2. 仕事や家事などで時間がない	23	25.6
3. どこでどんな活動の機会があるかなどの情報が少ない(少ない)	42	46.7
4. 参加したい活動が見つからない	22	24.4
5. 環境に関心がない	6	6.7
6. 資金がない	5	5.6
7. 一緒に活動する仲間が見つからない	14	15.6
8. その他	4	4.4

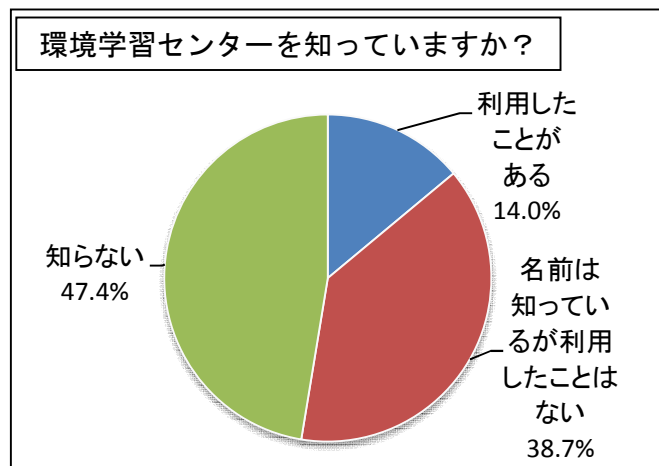


問5 あなたは、琵琶湖博物館の環境学習センター※3を知っていますか。(回答チェックは1つだけ。 n=344)

※3 環境学習センター…環境保全行動につながる環境学習を推進する拠点。

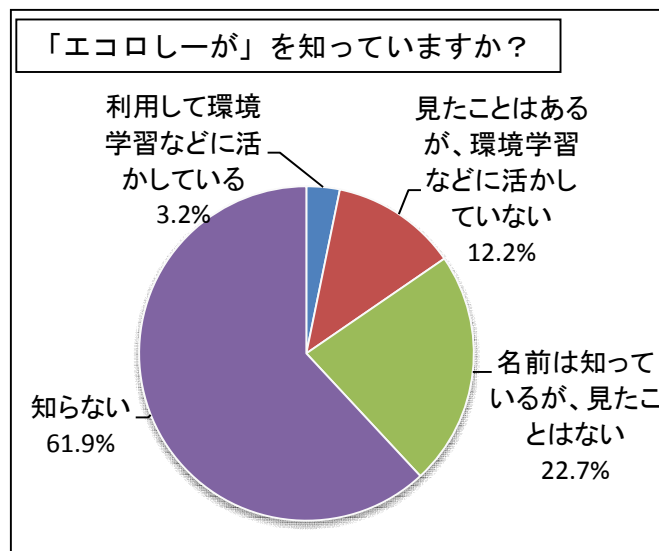
【活動内容】環境学習の企画サポート、環境学習に関する情報提供 等

項目	人数(人)	割合(%)
1. 利用したことがある	48	14.0
2. 名前は知っているが、利用したことはない	133	38.7
3. 知らない	163	47.4
合計	344	100.1



問6 琵琶湖博物館の環境学習センターでは、環境学習プログラムの事例や指導者、施設等の紹介など、環境学習についての企画やプログラムづくりをするときに役立つ情報を掲載したホームページ「エコロシーが」を開設しています。あなたは、「エコロシーが」を知っていますか。(回答チェックは1つだけ。 n=344)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 利用して環境学習などに活かしている	11	3.2
2. 見たことはあるが、環境学習などに活かしていない	42	12.2
3. 名前は知っているが、見たことはない	78	22.7
4. 知らない	213	61.9
合計	344	100.0



問7 環境学習についてご意見があれば自由に記述してください。(抜粋)

- ・琵琶湖博物館の環境学習センターは、これまでよく利用し、お世話になっている。今後も引続き充実した活動をお願いする。
- ・琵琶湖博物館が遠いため、頻繁には行けないので、琵琶湖博物館についてよく知らなかった。また子どもを連れて行ってみたいと思う。子どもたちにもっと環境学習をして、知識を増やしてあげたいと思う。
- ・普段、エコバックの持参や食品トレーやペットボトルを分類して回収箱にいれるぐらいしかやっていませんが、ヨシ刈り体験などはしたいと思っています。なかなか時間があわないのでちょっとした隙間の時間に環境保全に関わる活動ができるようなシステムがあるといいと思います。
- ・琵琶湖を今より美しくしたい思いはあります。しかしどう参加すべきかわからないので、広報をお願い致します。
- ・家の中が中心なので情報収集に限界があるのと小さい子供がいると行動も制約がある。
- ・豊かな自然環境を持つ滋賀県民として、環境学習を継続的かつ積極的に学べる仕組みがあると良いと思う。
- ・エコバッグは、必ず持参して、買い物に行きます。もっと、色んな事をやりたいと思ってはいるのですが、何から始めればよいのかわからないのが、現状です。
- ・琵琶湖博物館 環境学習センターの県内認知度は依然として低いです。環境関連者だけでなく、多分野にその存在をアピールし、連携していくことが必要だと思います。例えば環境と地域おこし、環境と福祉、環境とビジネス、環境とものづくりなど。様々な人を巻き込んで環境への意識を高めていくという方法が環境学習推進への近道かもしれません。滋賀は解決すべき課題や可能性に事欠かないですし。
- ・県民としてびわこを守りたい！という気持ちはあるものの、なんらできていないのが実情です。年に一回でもなにか出来たらなと思います。そんな私にも気軽に参加できる企画をぜひお願いいたします。
- ・生活と深く関係する大切な学習だと思います。我が家の子ども達も、小学校時代には、興味深く、かつ楽しみながら、積極的に取り組んでおりました。深く掘り下げ、どんどん学んでいけたのは、なにより、環境学習が身近なテーマであるからだと思います。そういった学びの機会を与えていただいた学習環境（小学校）に感謝しています。皆が意識を高め、楽しみながら、当然のようにして現状を改善していければ理想だと思います。
- ・環境問題は、人類の生存に関わる問題なので、低学年の学校教育からしっかり勉強させて欲しい。そのことが、地球環境維持に貢献できるものと考えます。
- ・学習する機会があまりないので、スーパーの中でイベントやパネル展示してもらえると立ち寄って学習できると思います。
- ・琵琶湖が近くにあり、どちらかという環境について学ぶ機会が多くあるはずなのに、今までその機会を活かしきれてなかったように思います。滋賀県は子供の頃から学校で、琵琶湖を取り巻く環境について学べるので、大人になっても継続しないとダメですね。

- ・琵琶湖をかかえる滋賀県は特に環境が大切である。しかし、年を経てからはなかなか活動に溶け込むことはできない。幼稚園、小学校から清掃活動などに団体で積極的に取り組み、自然の大切さや守る立場であることを教えてほしい。
- ・子ども達は学校を通じて、結構環境の事について詳しくなっていると思いますが、お年寄り、大人は個人差が大きく、いつもはがゆい思いをします。
- ・集合型の学習よりも、ネットやテレビなど、自由な時間に自由な場所でたのしく学べるものが良い。「エコロシーが」は知らなかった。今回初めて見たが、これを充実し、いろんな情報を載せれば、これそのものが環境学習になる。例えば、分別の状況やゴミのデータ、琵琶湖の水産資源の状況など・・・
- ・琵琶湖のある滋賀は 環境学習に適した場所だと思います。琵琶湖を守ることは全て自然を守ることに繋がります。子供達がうみのこの学習船に乗るのは五年生ですが、もっと早くから保育園・幼稚園でも自分たちが琵琶湖を守っていくことを紙芝居などで自然に教えていくことができたらいいなと思っています。
- ・琵琶湖を抱えているので、水質に関わるものについては比較的情報があると思う。びわこを大事にする学習は大変結構だと思います。親から子、子から孫へと伝えて行くべき、家庭や地域での取り組みが弱いと思います。昔からの在所に伝わる伝承文化、祭事等には環境に関わるものも多いと思います。そうした機会を使って学習できるようにして欲しいと思います。
- ・環境に興味を持つには、個人的だけでなく、地域全体の意識も必要であると思う。特に子供を含めた若い世代に積極的に関心及び関与する必要があると思う。
- ・小さな子供がいるので、一緒に学べる機会があると嬉しいです。まだまだ子供は難しいことはわからないので、簡単に学ぶことができたり、生活の身近なことと関連していると、学びやすいです。